friendship force
AICHI

No.１１０

# Newsletter

## フレンドシップ フォースとは？　　会長　鷹野晴子

以下の文はイギリス マンチェスタークラブの 2000 年に出された資料の中で見つけたものです。愛知クラブは 2005 年にマンチェスタークラブと 3 回目の交換をしました。会員全員が受入交換を楽しみました。2016 年、初めてメキシコからスペイン語を話す友人達を迎えました。 フレンドシップフォースは来年 40 周年を迎えます。世界の情勢がどのように変わろうとも FF の基本的な考えは今も同じです。これからも世界中の人々と交流を楽しみ、友情を築いていこうではありませんか。

**What is the Friendship Force?**

**The Friendship Force is not a travel club but the core activity is travelling, in groups, to stay with members of Friendship Force clubs in other countries.**

**A Friendship Force Ambassador lives in a host's home, taking part in their family life and getting to know their culture.**

**It is founded on the idea that wherever you may go, people are people and differences in culture and language need not create barriers.**

**Our motto is:　　'A World of Friends is a World of Peace'**

フレンドシップ フォースのアンバサダーはホストの家に泊まり、その家庭で日常生活を共にすることにより、その国の文化を知る努力をして楽しみます。

フレンドシップ フォースは どんな場所に行っても人は皆同じであり、文化や言葉が違ってもそれが障壁になることはないと言う考えに基づいているのです。

私達のモットーは：　　「友情で結ばれた世界は平和の世界」

2004 オーストラリアで

2005 マンチェスター受入

2011 マンチェスター渡航

2013 スイスの庭で

## みんなのコラム　　天下布武　　白木裕己

滋賀県の安土町に来る機会があり、城郭資料館を見学しました。その時目に入ったのが「天下布武」という文字でした。その文字がどういう意味があるのか？確か学生時代に聞いたことが？　興味がわき調べたところ、1567 年、織田信長が清洲城から岐阜に移り、沢彦和尚から受けた朱印が「天下布武」の言葉でした。七徳の武をもって天下を治めるという意味です。「暴を禁ず、兵を治める、大を保つ、功を定める、民を安んじ、衆を和し、財を豊かにする」という七つの徳です。人間の限られた時間、生きる事のできる間に何をするのかそして何を残すのか。皆で力を合わせ、広く皆の為に成し遂げられるといいですね。信長は、1582 年（天正 10 年）他界しました。その年、4 人の少年が渡欧しています。天正遣欧使節です。さぞや厳しい旅であったと想像できますが、今の私達が容易く交流できる現在は、外国の文化、歴史を深く学び、理解しあいたいものです。

## 「陽気なメキシカン16名愛知を大いに楽しむ Ｃｏａｔｅｐｅｃ　ｃｌｕｂ受入れ９／２７～１０／４」

### メキシコ受け入れを終えて

ED　西村　貴美子

私がホストしたのは ED 夫妻で奥様がかなり若くて年の差婚のご夫婦でしたからご主人が奥様に尽くすタイプのご夫婦かと思っていました。奥様の Miriam はそれはそれはご主人によくつくし、かゆいところに手が届くように、細やかな気配りをするのです。日本の男性が見たらうらやましく思うでしょうね。ご主人の Gerardo は話好き、Miriam もとっても明るく活発な方、ご主人ほど英語が話せないのですが一緒におしゃべりを楽しみました。彼が常に会話をリードしてくれたので、英語がうまくない私も十分会話を楽しむことができました。今回の受け入れではサンキューミールなどを除き５回我が家で食事を用意することになっていましたが、我が家で３人だけで食事をしたのは１回だけで、４回は誰かを招いたりどこかに招かれたりで連日パーティーでした。多勢いで食事をするのは楽しいものです。集まったアンバサダーたちもとても喜んでくれ、よかったと思っています。ただホストがそれをするのはかなり大変なのでディナーホストがもう少し充実すると、ホストもしやすくなるのではと感じました。到着時間がぎりぎりまでわからなかったり、コンタクトがうまくいかなかったり、ED として心配なことがいっぱいありましたが、二人に会ったらそんなイライラも飛んでしまいました。帰る日、我が家の近くの駅で電車を待っているとき、手持ちの円がなくなってきたと言いながら、「僕は expennsive な wife を持って大変だ」という彼に「あんなに夫に尽くす奥様で、あなたは幸せ者ですね」という私の言葉に、にやりととっても幸せそうな笑顔を見せた Gerardo。本当に仲の良い素敵なご夫婦でした。

メキシカンスタイルで楽しむフェアウェルパーティ

メキシコ ED と西村 ED

### 言葉は通じなくても・・・・・

土居陽子

今回の受け入れの方々は、英語をほとんど話されず翻訳機で訳したものを見せて納得されたり、また首を傾げられたりとなかなか伝わらないことも多くありましたけれど、基本的には難なく過ごすことができました。

友人の南米人の方々にも協力いただき、
彼らにとっても日本での生活や情報を聞いていただけたかと思っています。
フリーデーの日は三重の忍者屋敷に出かけ楽しんでいただきました。
言葉は通じなくてもお互いコミュニケーションは十分とれることを学んだ一週間でした。

南米の友人を招いて

**異文化交流メキシコ編** **橋本　忠幸**

５月２３日に受け取ったアンバサダーのプロフィールから今回のホストでの交換は始まった。Special Needs の欄に lactose and gluten intolerant と出ている。Languages Spoken の欄には Spanish のみ。詳しく知りたいので、早速メールを出すが返事はない。何週間待っても来ない。
私のプロフィール写真を送って「貴方の写真を送ってほしい」と呼びかけてもなしのつぶて。
要はミルクと小麦粉は食べられない、英語はダメ、スペイン語のみということらしい。
心配ではあるが「何とかなるさ」と開き直り、家に連れて来た時の想定会話をスペイン語で書き、見せられるよう準備する。しかし、実際来てみるとメキシコ人特有の明るい、６０歳の元小学校の先生だったおばさん。ミルクと小麦粉だけでなく注文は多かった。生ものはダメ。目玉焼きは両面固焼きに。肉は良く焼いて、肉の赤い色が変わるまで焼く。シャワーは朝晩２回入りたい。
市内観光の時、アイスクリームをおいしそうに食べていたらしい。しかもその時「ホストには内緒ね」と言っていたという。家に帰って、その話を妻に話したら、日本語なのに何を話しているのか判ったらしい、恥ずかしそうに顔を隠していた。会話はスペイン語だけかと思っていたが、片言の英語が出来る。時々英語で話出し、単語が出てこなくなって、笑ってごまかし、その話は中止。
こちらも同様片言英語なので、そんな会話が楽しかった。
メキシコの料理、メキシコでの英語の学習などいろいろ教えてもらった。近くに住む娘が小学校２年生と幼稚園の孫を連れて遊びに来た。
孫は単語カードを作って覚えたてのスペイン語で歓待。
楽しい国際交流。孫たちも初めてのメキシコ人に会い喜んでいた。

**娘と孫も異文化交流**

**ホスト体験をとおして楽しかった八日間** **森井　香**

今回初めてでしたが、Host をお引き受けしました。遠方より来られた Ambassodor に、心からのおもてなしをしたいと、思いました。CALROS さんは英語で主人と、JUDITH さんと私は、iPad のスペイン語翻訳アプリを介して、首を傾げたり目と目を合わせて笑ったりしながら、何とか楽しくコミュニケーションがとれました。

名古屋城天守閣と三の丸御殿の絢爛豪華な装飾、飛騨の小京都といわれる高山の町並みなどに「日本」を感じられたことでしょう。
さらに「奈良一泊二日の旅」にお連れしました。
若草山、二月堂、三月堂などを回り、夜は氷室神社の舞楽奉納を見学、奈良公園や奈良町の散策、こうしてゆったりと古都奈良を満喫していただきました。
二人は毎日「Beautiful！」と「Happy！」の連発でした。
団扇の裏に「軽呂守」「寿出津」と、自分の名前を毛筆で書きました。
失敗するたびに「oh my God!」の連発でしたが、
良いお土産となったことでしょう。

**上手く書けました！**

初めてお会いしたご夫妻とは思えないくらいうち溶け合って、実に楽しい八日間を過ごすことが出来ました。「朋あり遠方より来る、また楽しからずや」、そんな気さえしました。今後も FF の活動を通して、世界の平和に微力ではありますが、お役に立てればと思っております。

**グスタボ、ロージー夫妻を迎えて** **服部　晶子**

我が家にとりましては２回目の受入れです。前回のブラジル同様今回も典型的なメキシカン、とってもフレンドリーで朗らかな、そして素敵なお二人でした。グスタボはお酒で主人と盛り上がり、歌の好きなロージーと私達は若い頃よく聞いたメロディーやバンド名が共通の話題となりメキシコの近さを改めて思いました。フリーディにはご希望の水族館を楽しみ、その後、久保田さんのお宅で彼女の着物姿でのお点前で茶会の雰囲気を味わっていただきました。
少しでも思い出になってくれれば嬉しいのですが。滞在中、できるだけ日本らしさをお見せしたい

と考えていましたが中々思うように出来ず、アッという間の一週間でした。
私たちは非日常を楽しませて頂きました。
沢野井さん、大矢さん、久保田さんに感謝です。
有り難うございました。

**着物にトライしました。
とてもお似合いで、グスタボはハリウッドスターの様だと言ってましたよ！**

メキシコから来た陽気な夫婦　　重森整三、隆子

ボンと地を震わせ、豪壮な花火の音が弾け、枝垂れ柳の赤い炎が舞い落ちる。ミセスデリアの瞳が朱に染まり、キラキラ輝いている。たぶん、スペイン語で綺麗と叫んでいるのだろう、手筒花火の群舞に酔いしれて絶え間なくシャッターを切っている。運よく伝統的な祭を体験することができた豊橋羽田八幡宮の境内は混んでいた。夫ビクトールは彼女の肩を抱き寄せ、人垣から護るメキシカンナイトのようだ。結婚して１５年の二人はとても仲が良い。その所作に慣れない日本人はドギマギしてくる。「夫婦で、いつも仲良くしていく秘訣は何？」と妻が聞くと、二人で旅行をしたり、買い物したり、仕事は別でも昼食や夕食を一緒に取り、よく喋ることだそうだ。なるほどと感心する。努力を要するが見習いたいものだ。遠くまできたかいもあり、喜んでもらえて良かった。
我が家で出した夕食のすきやきが好評で、リターンバンケットはしゃぶしゃぶで話がまとまる。平日で、食べ放題のその店は比較的空いており、稲葉さん宅のアンバサダー、サンドラも一緒になり、６人で店の奥を陣取る。大いに食べ、かつ飲み騒いだ。デリアの酒豪ぶりは聞きしに勝り、薄いビールでは杯も進まなかったが、焼酎のロックにしたとたんグイグイといき、みんなで歌ったり踊ったり、腹の底から笑い転げる。ベサメムーチョの歌も彼女が唄うと、ドキッとした色気がでてくる。国が違い、言葉が通じなくても感じる心は同じだと実感する。「朋あり、遠方より来る。亦楽しからずや」酒を酌み交わした友人は一生の友達だと伝える。別れ際、それをノートにスペイン語で書いてくれたのを知った時、私達はとても嬉しく、解り合える喜びを感じることができた。
次回はメキシコで再会し、テキーラで飲み明かそうと約束する。

**次の再会はメキシコで・・・**

会話は心と体で・・・至福のひととき　　細川　義信

アンバサダーは、一人は陽気でもうひとりは物静かな人でした。私の都合で全日程をホストすることができませんでしたが、ルスとマリアの協力により無事に次のホストに引き継ぎ出来ました。天気が生憎の雨模様であったのが名古屋城見学位でそれ以外は天候に恵まれスケジュール通り無事にホストを務めることができました。最初はスペイン語しか話せないと聞いていましたが、ルスが英語が理解できるので安心でした。こちらも拙い英語力なのでスケジュール等の説明に納得してもらえたか、不安でしたが、メキシコ出身の知人や皆さんの協力のおかげで理解してもらえたことと思います。キリンビール見学では、ビールの試飲に二人とも喜んでいましたし、特にメキシカンということで、つまみに柿の種を持参したところ大勢に受けました。最後の夜の食事に日本独特のしゃぶしゃぶパーティーをしたところ大変喜んでました。
うちの家内はルスより本場のサルサダンスのレッスンを受けマリアと３人でダンスパーティの始まり、少し飲んでは踊り、少し食べては踊り、少し料理しては踊り、４人で延々と夜中まで盛り上がり至福の時間を過ごすことができました。今回の受け入れは、心と体で会話を楽しみ、ソウルな経験ができたことに感謝します。

**細川邸半田地区ホームパーティ**

**貴重な体験・楽しんだ孫達** 岡田　恵美子

久しぶりにホストをさせて頂くことになり、少々緊張感はありましたが、家族とともに楽しい三日間でした。孫たちは「クレヨンしんちゃんメキシコに行く」と言うアニメを見ていたせいか、メキシコからのお客様にとても興味を持っていたようでした。ディホストの日、孫二人と私の三人で日本舞踊を披露させていただいたので、「メキシコの踊りも見せて頂けませんか」とお願いしたところ、二人共快くテンポの速い曲に併せて踊ってくれました。我々も一緒に参加して両手を広げたり、腰を振ったりしてエレナとマリアを真似て踊りました。ハードでしたが、普段では味わえない貴重な楽しい体験でした。言葉の壁を越え一緒に行動する事で伝わる気持ちを、大切に過ごした三日間でした。鈴鹿に来ているということもあり、サーキットに行ってみたいと言う要望があったので、見学してから久しぶりにコースを車で走りました。とても喜んでくれました。

## FFI テーマ別交換ニュージーランド英語研修に参加して

**NZ　英語研修の旅（８/17~9/2）** 高須　多江子

初めてこの NZ への渡航、目的が英語研修というメールを見つけた時、これは私の修学旅行だと思いました。私は、およそ１５年前英語を個人的に学習しはじめて以来、英語圏への渡航経験もまるでありません。修学旅行は、行きたいとか行きたくないとか言う余地のない旅です。わたしは、一念発起して７０％の不安と３０％のワクワク感でずっと南の冬の国めざして成田を飛びたちました。

私達、日本人２０人は、全国 6 か所の FF から集まったメンバーです。自分たちの地域の紹介をしたり歌をうたったり交流を楽しみました。一番楽しかったのは、ホストの家に数人集まってお互いの国の料理を作ってパーティーをした事です。充実した交流は、今思い出しても心が温かくなります。滞在中、現地の皆様が私のつたない英語も辛抱強く笑顔で聞いてくださって本当にうれしかった。そのおかげで英語で話しかける事にいつも緊張とためらいを感じていた私の心がいつしかほぐれ気づくとリラックスした会話で笑っている自分に気がつきました。このような機会を与えてくださって本当に感謝しています。最後に渡航前、不安な私を勇気づけてくれた、一遍の詩を紹介したいと思います。

仲良くなった他クラブの人と

「対話」

文字と対話し、音声と対話する。
異なる考えと対話し異なる文化と対話する
外国語は、見知らぬ新しい世界へ私を導いてくれる扉である。

**ニュージーランド英語研修　（８/17~9/2）報告** 久世　三央子

ニュージーランド語学研修プログラムに 8/17~9/2 までの間、小学校６年生の長男と参加して参りました。アンバサダーは全国 6 か所の FF から集まった男性ひとり、女性１７名、男児２名の総勢２０名でした。Exchange は初めての経験でしたが、他の exchange と大きく違うと思われる点は、

① 語学研修プログラムなので、英会話の練習や英語での講義があったり、学校訪問などの勉強タイムがたくさん設けられていたことでした。特に英会話のスクールでは、まだ顔見知りにもなっていない他クラブのアンバサダーの方々と、交流が持てたことで、その後の交流にも発展し、とても有意義な時間が過ごせたと思います。
学校訪問では、幼稚園から専門学校まで、全部で６校ほど訪問し、ニュージーランドの自由な教育を目の当たりにし、日本の教育とのそれぞれのメリットデメリットについて考えさせられました。ただ、いずれも受入クラブによって内容は異なってくるのだと思います。
また、アンバサダーの方々も、学校訪問時だけでなく、いつもメモを手に説明を聞いておられる方も多く、向学心の強さを感じました。

② 二つ目の違いは、この交流のアンバサダーが他クラブとの寄せ集めであるという点です。
今回の exchange では、歌を大切にするマオリ文化の関係か、とても歌を歌う機会があったのですが、始めは聞き苦しい、まさに寄せ集めの歌声であったのに、交流が深まるにつれ、いつの間にかソプラノやアルトに分かれて、FF 合唱団を名乗れるのではないかというほどに上達し、チームワークもよくなり、歌うことが楽しくなってきました。また、他クラブがどんなところなのか、受入の際にはどのようなおもてなしをしているのか、などの話も盛り上がり、ぜひ日本においての国内交流もやっていきたい、という話になりました。別れの時には、ホスト達との別れと同様、抱き合って涙を浮かべて別れました。
ちなみに、ニュージーランドでは国内交流も盛んということで、私たちを受入してくださったクラブでも、私たちの次には国内グラブの受け入れが３泊である、とのことでした。

語学研修を終えて・・・・・・

受け入れクラブの ED さんが、何度も「この人たちは、楽しみのためにここに来ているのではありません。英語を学習するために来ているのです。ホストは、ゆっくり話すことを心がけてください。」とおっしゃってくださったこともあり、こちら側も『語学のため！』ということを考えながら行動することができました。ホストのなかには毎日ひとつずつ知らない単語を覚えさせてくださった方もいらっしゃったそうです。人によっては、「８」が「アイト」で、ニュージーランド独特の訛りがあることもあり、最初の二日は悩まされましたが、それにも慣れ、思った以上に理解することができたと思います。単語やイディオムなども、日常会話を通じて増やすこともでき、英語に少しだけ自身がもてました。今後の課題はこれを維持することです！長男も、英語が全くできない状態で、ニュージーランドに放り込まれ、始めのうちはとても戸惑っていたようですが、自分ができることを探して、折り紙でおもちゃを作って喜んでもらったり、けん玉を披露したりと、交流が言葉によるものだけでないことを感じてくれたように思います。
その過程を経たら、今度は言葉で伝えたくなったようで、
最後の方は「〇〇ってなんていうの？」と、
何度も聞いてきました。
この次の段階がどうなるのか、
自分で英語のイディオムを探し始めるのでしょうか。
とても楽しみです。
私たち親子に、このような機会を与えていただき、
ありがとうございました。

晃生くんのけん玉ショー

ニュージーランド英語研修（10/3~10/17） 川合　明美

私は、ニュージーランドに行ったことがなく一度は行きたいと憧れていました。そこで語学研修もできると思い参加しました。始めのワンガナイのステイ先は、乳牛と子牛を飼育している農家で、広い牧場もある素敵な家でした。朝、起きてビックリしたのは、寒さでした。日本の初冬の頃の気温でした。ダウンが手放せません。昼は太陽が出て暖かくなり春の季節です、でも雨の日が多く寒かった。ホストの方が、何百頭もの搾乳場に連れて行ってくれました。その時には、さすがニュージーランドだと感動しました。食事は、朝食、モーニングティー昼食、アフタヌーンティー、夕食と５食で食べ過ぎました。こちらの人は、甘いものが大好きなようです。私も大好きで帰ると体重が心配です。次のステイ先はタウボ。湖の傍に街ができている素敵な街でした。ここでは、
マウイの学校に行き、マウイの歌やダンスなどを見学しました。
それから、日本料理を作ってホストの家族に、振る舞いました。
不慣れな場所での料理は、大変でした。
ホストの方々は「とても美味しい」と言ってくれました。
嬉しかったです。食事をしながら、楽しくお喋りができました。
私はこの体験から、人と人との触れ合いは、
言葉が通じなくても心からの信頼と理解を持って
接する事が大切だと思いました。

お茶目な現地の人と一緒に

［中部ブッロク会議に参加して］ 加藤　紀子

平成 28 年 10 月 29 日（土）大阪ｶﾞｰﾃﾞﾝﾊﾟﾚｽにて今年も中部ブロック会議が大阪クラブの担当で午後 1 時より開催された。参加者ＦＦ愛知９名、全体では 56 名であった。開会のあいさつに続き、ＦＦＩの金元さん、大西さんＦＲの藤井さんとあいさつがあり、各クラブの会長による参加者の紹介。事前に調整されたアンケート結果の発表と議題説明。休憩の後２つのグループに別れ意見交換。

１のグループではＥＤの選任について、１００日ルールについて、国際情勢の緊迫化と渡航先の選定につて話し合われ、２のグループでは国内交流について、クラブ内交流について、会員増強策について話し合われそれぞれのグループで同じ会場内で討議されているので、相手の討議者の声がうるさく思われるほど皆さん熱く語られていました。

とにかく皆さん楽しく無理なくこの会を運営していきたいと思っていらっしゃいますが、高齢化と共に会員数が減りそのことのみの手当てで、頭を痛めてみえるようでした。

[2016 年度 第 28 回日本大会] 鷹野晴子

11 月 12 日､埼玉クラブ主催で第 28 回日本大会が開催されました｡アトランタから FFI 会長 Jeremi Snook を迎え、全国から 26 クラブ 213 名の会員(愛知から 16 名)が一堂に会し、熱い熱気の中で行われました。　大会で遠隔地の友人との再会は楽しみの一つです。今回ソウルから来日された今年 92 歳のお元気な Hwang さんと奥様との再会は FFJ の多くの会員にとって大きな喜びでした。大会での Jeremi 会長のスピーチは FFI への強い責任感と未来の FFI への理想に燃えたもので、私達に期待感を与えました。

**[代表者会議報告]**

参加者は FFI 会長 Jeremi Snook、 FFI 理事 大西 弘氏､石井嗣代氏､金元勅子氏､4 ブロック FR､各クラブ会長と事務局、愛知クラブからは鷹野晴子、西村貴美子が出席しました。

[概要]

１．Jeremi 会長：Fund raising の主な目的は新しい地域、国での FF の開発資金である

２．<u>FFI Board 報告：2017 年度より Host Fee が US$100 から US$150 に引き上げられる</u>

３．FR による４ブロック会議の報告：

４．5 クラブからの発表：①札幌クラブ：テーマ別交換（英語研修）から本来の交換の在り方を考え直す。②西東京クラブ：合同渡航・合同受入のメリットと課題
③奈良クラブ：常に次の世代の開発が必要である、その努力をしている

[まとめ]

・今後注目されるプログラムの一つはテーマ別交換の「英語研修渡航」である。参加者、ホスト側、双方の目的がはっきりしており、若い親子ずれの参加も好評で今後も継続される

・奈良クラブから発表にあった‘世代交代、思い切った若返り’は切実な課題である。スムーズな FF の若い世代への移行が求められている。

**Jeremi 会長と愛知クラブの皆さん**

# 報告とお知らせ

## 2017年度　総会のお知らせ

期日：1月28日（土）1100～15:00
場場：あいち国際プラザ　交流室
内容：11:00～12:00　総会
　　12:00～13:15　懇親
　　13:30～15:00　講演
　　講師　加藤直人 中日新聞 論説委員
詳細は後日ハガキにてご案内いたします。皆様のご出席をお待ちいたします

## ≪2017年度交換プログラム≫

≪渡航≫1．9月　カナダ　Victoria ED:武藤美代子

≪受入≫1．3月　アメリカ　Montana　ED:稲葉千賀子

2. 11月 アメリカ　Western Michigan ED:加藤紀子

≪FFIテーマ別交換≫

1. 5月2週間アメリカ英語研修2週間
2. 8月2週間ニュージーランド英語研修
3. 10月2週間ニュージーランド英語研修

**4月2日-4日**
ベルギーのブリュッセルクラブのメンバーが愛知を訪問します。ホテル宿泊。滞在中彼等と交流を楽しみましょう。
冨岡達也

## ＊[お知らせ]＊

2017年からFFIのファミリー会員制度はなくなり、一律シングル会員($15)になります。
なお、FF愛知の会費は今まで同様一律5,000円、家族会員の扱いも従来通りです。

**（編集後記）**　日本大会は盛況であった。新会長の未来に向かう希望に満ちた話も魅力的だ。今、テーマ別渡航が大きな話題になっている。主体はホームステイの英語研修。受け入れ側も熱心で、家庭の中の生活英語を学ぶ事の効用が絶賛されている。本号掲載の３名の体験記も素晴らしい。全国から集まり寝食を共にした連帯感や友情、果ては同窓会まで結成されていると聞き驚く。渡航テーマは他にメルボルンのテニスもあるそうだ。なれば、カナダの登山とか、欧州のサッカー観戦とか、夢は大きく楽しく膨らんでくる。若い人の会員増強が急務の今、色んな知恵を寄せ集めればＦＦの発展が見えてくる。**重森**

編集・発行：FF愛知　会　長：鷹野　晴子 htkn@ma.medias.ne.jp
〒470-2101 知多郡東浦町森岡祖母懐 15-37
事務局：加藤　紀子　puppy-nk@cac-net.ne.jp
〒475-0833 半田市花園町 6-27-19
ニューズレター 編集・製作グループ：冨岡達也　重森整三　森井恵治　山脇悦子
ホームページ　担当　：冨岡　達也　アドレス：http://ff-aichi.jp